

豊かな自然を取り戻すために

私たちは、平成14年に保原町が募集した「保原町街づくり懇談会」の一部会である「環境部会」として発足しました。

保原の山も川も耕地も、以前は住民の生活と密接なつながりを持ち、私たちに恩恵を与え、生活を支え、私たちは自然を大切にしてきました。

しかし、科学が進歩し、生活が豊かになるにつれて自然の恩恵を忘れ、大量に物質を消費してごみを捨て、農薬などにより自然のバランスを壊し、しかも自然

を大切にしようとする心も希薄になってしまいました。

こつした自然の崩壊に対して、できるだけ以前の豊かな保原の自然を回復させ、守っていくことが大切です。そのためには、実際に調査を進め、検討し問題点や改善点を明確にして、市に対策や改善策を提案するとともに、住民にも環境改善に協力を呼びかけるよう啓蒙活動を行っていきつと、できることから活動を始めました。

これまで行ってきた活動はいろいろありますが、次の2つを紹介いたします。

清らかな川を取り戻したい

保原を水源地とする古川、東根川、伝樋川は以前は清流で、サワガニ、ホタルコイ、フナなど生物の豊かな川で、住民の憩いの場でした。しかし、昭和30年代



古川の水質調査（水源地付近）
富成小学校3、4年生によるホタルの基礎知識の学習

がんばる! No. 19

市民のちから

市民団体活動紹介

保原町環境ワーキンググループ

【代表者名】滝沢由一さん
【事務局・連絡先】保原町半道49-2 島田久也さん
☎575-3645

から都市化の波が押し寄せ、瞬間に汚染が進み「死の川」になったところもありました。

これらの川に清流を取り戻そうと、毎月、全部で15地点の水の科学的な調査を続けています。この結果から、各河川の汚れの程度、特徴などが分かり、町内会、赤坂ふるさとまつり、文化祭、小学校の総合学習などで現状の説明や浄化協力を呼びかけてきました。皆さんの協力で次第に浄化されつつあります。

カシの木を再生するために

富成小学校校庭の2本のカシの木は、100余年を経過した巨木ですが、近年樹勢が衰え、枯れ枝が目立つようになりました。3年前に校長先生から再生対策



幹に付いたコケを落とし元気づける（カシの木再生事業）

の相談を受け、根の近くの土壌や枝の状況を調査し、枯れ枝を切除し、数年計画で部分的な客土を進めることにし、学校地域の人などの協力で土の入れ替えをしました。3年目の今年も、皆さんのご協力で同様の作業を進めました。カシの木は見事に再生し、枝からは多くの新芽が伸びています。

この外にも、ごみ問題、地球温暖化防止、地域のホタル増殖活動などを行っています。メンバーには環境関係法規、樹木の保護育成、ドイツの環境教育、水質調査などそれぞれの専門家がいます。活動が勉強にもなっています。

環境問題に関心がある人は、ぜひ参加して活動してみませんか。興味のある人は、事務局にお電話ください。